

令和5年度 学校経営方針

府中市立府中第六中学校
校長 佐藤 光宏

はじめに

今年、創立58年目を迎える本校は、地域に根ざした歴史と伝統を備えた学校である。教育目標として「学力と情操」「健康と忍耐」「勤労と責任」を掲げ、生涯にわたって自ら学ぶ態度と健康で豊かな人間性をもつ生徒の育成に努める。府中第六中学校スローガンに「信頼と思いやり」を掲げ、以下の学校像を指標とする。また、学校全体の推進力として「あいさつ」「合唱」「ボランティア」を特色として、生徒の帰属意識と自己肯定感を高める教育活動を展開する。

学校教育目標

○学力と情操 ○健康と忍耐 ○勤労と責任

目指す生徒像

- ①自他を大切にし、心豊かでたくましく生き抜く生徒
- ②自主自立の精神を強くもつ生徒
- ③礼儀（あいさつとことば）正しく思いやりのある生徒

目指す学校像

- ①生徒も教職員も「生命の尊さ」を深く理解し、安全で安心して生活できる学校
- ②生徒も教職員も「学ぶ喜び」を享受できる学校
- ③生徒も教職員も将来の夢や目標の実現に向けて生き生きと活動できる学校
- ④伝統と創造を重んじ、生徒・保護者・地域・教職員が共に支え合う学校

目指す教師像

- ①人権尊重を第一に生徒一人一人の良さを発見する眼、受けとめる心、語り合える言葉を大切にする教師。
- ②専門性、指導力を磨き合い、組織としての対応力を高め合う教師集団。

※ 全教育活動を通して、教育目標の具現化を図り、その達成をめざす。

1 経営上の方針

- (1) 常に課題意識をもち、課題を明確にして日々の教育活動を進める。
- (2) 学校は組織体であり報告・相談・連絡を密にし、教職員の総力で生徒の教育にあたる。
- (3) 学校は安心して安全な場であることを第一に教育環境の整備を進める。
- (4) 進行管理を徹底し、教育課程を確実に実施する。
- (5) 以下の視点を総合的に検討して最終的な判断とする。
 - ・生徒のより良い成長につながるものであるか。
 - ・地域や社会、保護者の求めるもので、公立学校として適正であるか。
 - ・教職員にとって資質の向上につながるものか。組織の協力体制につながるか。

2 中・長期的な取組目標

- (1) 生徒の学習を保証する（確かな学力を身につけさせる）
 - ① 学習指導要領の趣旨を踏まえ、教科書を的確・有効に使い綿密な年間指導計画と週ご

との指導計画（週案）のもとに、わかりやすく充実した授業を展開していく。

- ② 個別最適な学びを充実させるとともに、基礎的・基本的な知識技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成を目指すために、研究授業を中心とした校内研修を充実させ、教員の資質向上と授業力向上を図る。
- ③ わかる授業と個に応じた指導を推進し、ICT機器の有効な活用など多様な学習形態を積極的に取り入れた取組を実践する。

(2) よりよい学校生活を営む上での基本となる態度の育成を図る

- ① だれもが秩序ある健全で楽しい生活を送れるように、一人一人の規範意識を高める。
- ② 自主性を育成するために、生徒の自発的活動の機会を意図的に多く設定する。
- ③ 学校行事や体験活動、集団活動を通して、社会性、協調性、認め合う心を育てる。
- ④ 三年間を見通し、発達段階に応じた系統的、計画的な進路(生き方)指導を進める。
- ⑤ 六中学区内の小学校3校との指導連携をさらに推進し、教科指導やあいさつの習慣、ふるさと学習など九年間を見通した指導体制を発展的に実践する。

(3) 生徒の人権感覚を育てる(自他を尊重する心を育てる)

- ① 全ての教育活動を通して人権尊重の理念を基調とし、豊かな心と知性と感性をもって広く社会に貢献できる人間の育成を図る。
- ② 思いやりの心や規範意識を高めるために、全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。そして、いじめの根絶に全校体制で努める。
- ③ 一人一人の能力や適性を生かす指導をするために、特別支援教育の充実を図る。

(4) 保護者、地域との連携・協力を大事にする

- ① 学校公開、保護者会、全校面談等を通して学校への理解を得るとともに、家庭の教育力の向上を図る。また、コミュニティスクールを推進し地域人材の活用や地域に関連する教材を取り入れた取組を行う。
- ② 学校ホームページの随時更新や学校・学年だより等の充実により積極的な情報発信を行い学校理解の推進を図る。
- ③ 生徒、教職員ともに、地域活動やボランティア活動、PTA行事等に積極的に参加することによって地域との連携や相互理解に努める。

(5) 組織的な学校運営を推進する

- ① 学校経営計画の実現に向けて、教職員一人一人が教育公務員としての誇りをもち、組織の一員として行動する自覚をもたせる。
- ② 主幹教諭、各主任に担当する分野を統括させ、積極的に学校運営に参画させる。
- ③ 起案制度を徹底し、組織として意志決定の過程を明確にして運営を円滑に推進する。
- ④ 互いの指導技術を高めるために、OJTの組織的な取組を推進するとともに、経験にあった研修計画を立て、自己の指導力向上に努めさせる。
- ⑤ 校内評価・学校関係者評価等の結果を活用し学校改善を推進する。
- ⑥ 働き方改革を推進し、健康で生き生きと働く教員集団をつくる。また、休職する教職員がないように細心の注意を払い学校経営にあたる。